



2026年度進学予定者

進学のための 予約奨学金

生徒説明会

令和7年4月17日（木）

予約奨学金の申請とは・・・

卒業後、進学をするための資金を高校生の時点で借りたり支給してもらったりするための手続きのこと。

進学前 ➡ 予約奨学金（西高での手続き）

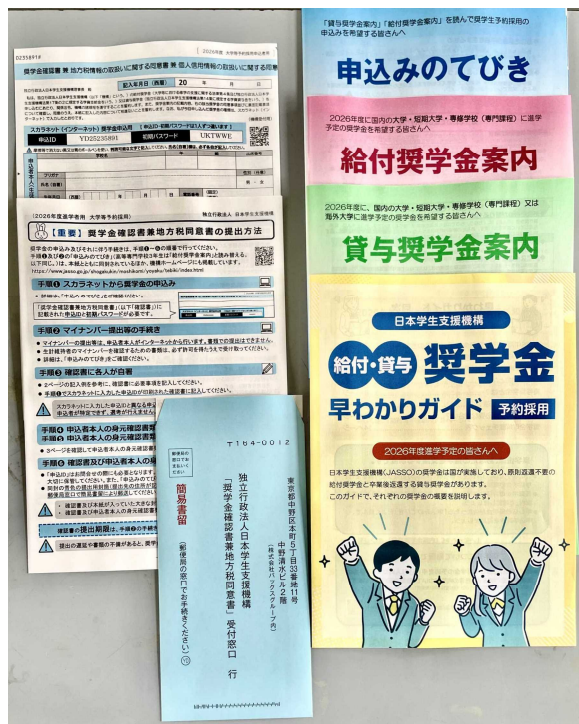
進学後 ➡ 在学奨学金（進学先での手続き）



(※貸与型の場合) 大学等の学校を卒業後

仕事をしながら自分自身で返済していく

配布資料



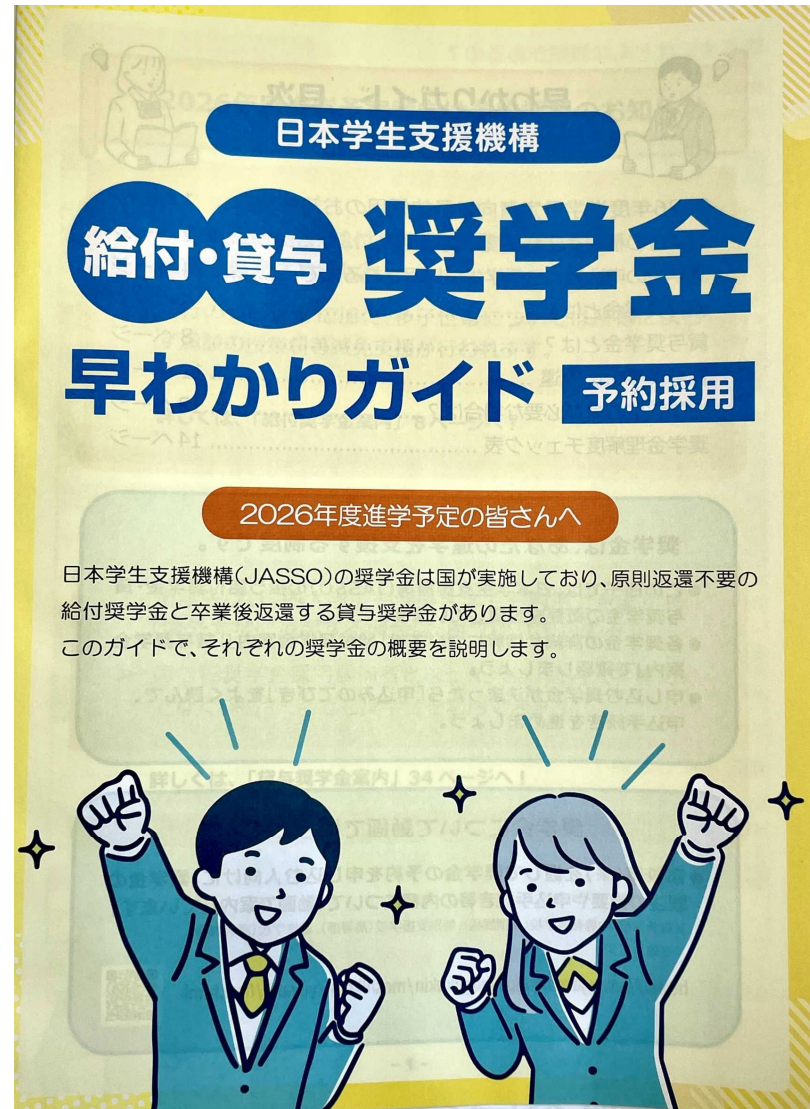
- ① 申込のてびき (青)
 - ② 給付奨学金案内 (ピンク)
 - ③ 貸与奨学金案内 (緑)
 - ④ 奨学金早わかりガイド (黄)
 - ⑤ 奨学金確認書 兼 地方税情報の取扱いに関する同意書
 - ⑥  【重要】 奨学金確認書 兼 地方税同意書の提出方法
 - ⑦ 青い封筒 独立行政法人日本学生支援機構
- 「奨学金確認書兼地方税同意書」受付窓口 行

+

7種類

日本学生支援機構
「大学等予約奨学金」の申請について(プリント)

奨学金早わかりガイド



p. 2 を開けて
ください

どんな奨学金があるの？



大きく分けて2種類…返す必要があるかどうか！

給付型



返還しなくてよい

が、しかし…

※家計の状況で
日本学生支援機構が判断

貸与型



自分で返還する

ほとんどがこちらです！

※シュミレーターでもはっきりとしない
場合には、両方申し込んでみる！

奨学金の種類①

ガイド
p. 2 ~

種類		返還	利子	振込
給付奨学金		返還なし	返還不要なので利子はありません。	毎月 1 回
貸与奨学金	第一種	返還必要	利子なし	毎月 1 回
	第二種		利子あり	毎月 1 回
	入学時特別増額			初回振込時に 1回限り

2年生までの評定
3.5以上!

※進学先がこの奨学金を利用できるか、**文科省のHP(ガイドp.2 QRコード有)**で要確認

給付奨学金について①

ガイド
P.5

・返還が不要な奨学金

- ・ **もらえる**奨学金（返還不要）
- ・ 金額は自動決定（毎月9,800円～75,800円）
- ・ **授業料・入学金の減免**が受けられる
（進学後に手続。減免額は給付と連動）

学生支援機構HP
「進学資金
シュミレーター」
で確認ができます！

給付奨学金について②

ガイド
p. 5

学力的採用基準

① 評定平均 3.5 以上 ※2年生までの評定

または

② 学修意欲を有する（レポートや面談で確認）

給付奨学金について③

ガイド
p. 5

家計的採用基準

①収入基準

住民税非課税またはそれに準ずる世帯

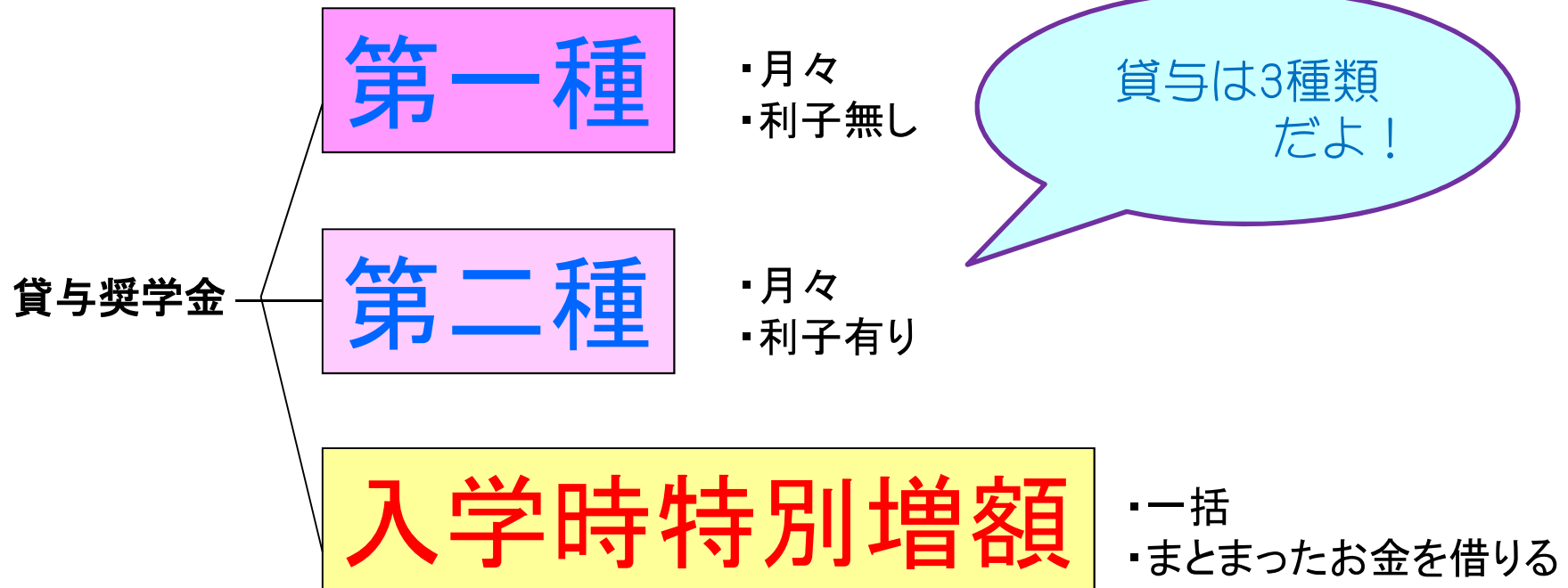
②資産基準

申込者・生計維持者（父母）の資産合計が
一定額未滿

貸与奨学金について①

ガイド
p.8

・返還が必要な奨学金



- ・金額は選べる
- ・組み合わせて借りることができる（給付ともO.K）

貸与奨学金について②

ガイド
p.8

① 第一種奨学金

- ・ 利子無し（借りた額をそのまま返す）
- ・ 金額は毎月20,000円～64,000円より選択
（進学先・進学形態によって上限は変わる）

採用基準

ただし、修学に困難がある人は
学力基準が緩和されます！

学力基準・・・**評定平均 3.5 以上**
家計基準・・・**収入基準以下**

貸与奨学金について③

ガイド
p.8

②第二種奨学金

- ・ 利子有り（借りた額に少し足して返す）
- ・ 金額は毎月20,000円～120,000円より選択

採用基準

学力基準・・・学習成績が平均水準以上

家計基準・・・収入基準以下

令和7年度 応募スケジュール

第1回（5月）

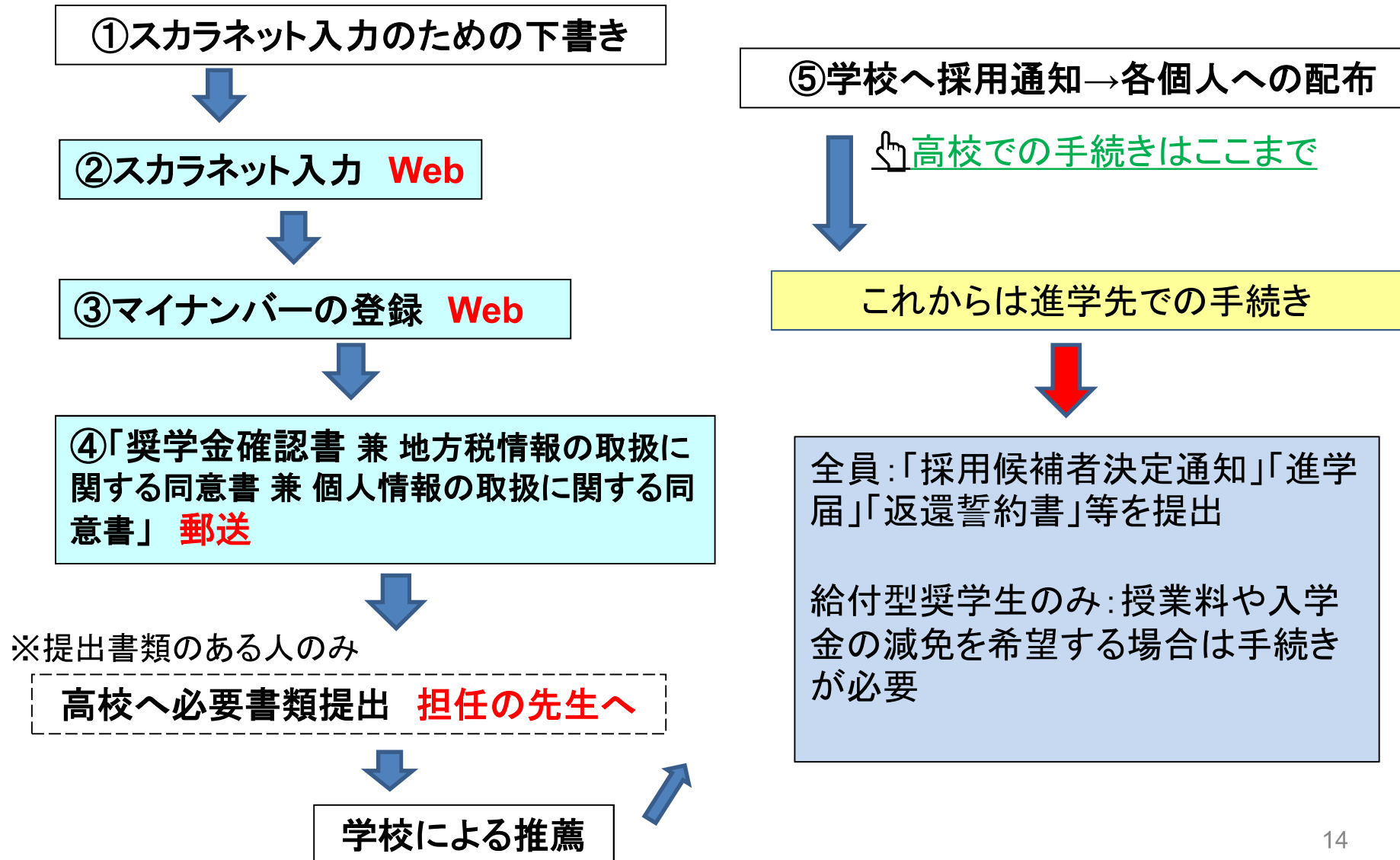
※基本的に第1回で申し込んでください
申込みが速いほど結果が速く届きます

第2回（6月）

予備回（10月）

※第1・2回で申し込みできなかった生徒
※進路変更などでどうしても必要になった
場合のみ

手続きの流れ



スカラネットへの入力

(ネット申請①)

「申込みのてびき」P.36

「申込みの手引き」 7～28ページ 下書き

①保護者と話し合いながら空欄がないように
下書き用紙を仕上げておく！



途中で止まってしまうと30分でタイムアウト！最初からやり直し

【重要】

スカラネットでの入力には**2種類**のIDとパスワードが必要です！

1番目に入力

2026年度進学予定者

日本学生支援機構「大学等予約奨学金」の申請について

重要 ※ ↓この2種類がないと入力できません！

*西高ユーザID: 29408000 パスワード: 6z4ejzja

*個人のユーザIDとパスワード(奨学金確認書兼地方税情報の取扱いに関する同意書)

2番目に入力

奨学金確認書 兼 地方税情報の取扱いに関する同意書 兼 個人情報情報の取扱いに関する同意書

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

記入年月日(西暦) 20 年 月 日

私は、独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という。)の給付奨学金(大学等における修学の支援に関する法律第4条及び独立行政法人日本学生支援機構法第17条の2に規定する学資支給金をいう。)又は貸与奨学金(独立行政法人日本学生支援機構法第14条に規定する学資貸与金をいう。)を申し込むにあたり、奨学法、機構の諸規程を遵守することを誓約します。また、奨学金案内の記載内容、右の該当奨学金の同意事項並びに裏面記載事項について確認し、同意のうえ、本紙に記入した内容について相違ないことを誓約します。なお、私が今回申し込んだ奨学金の種類は、スカラネット(インターネット)で入力したとおりです。

(機構受付用)

スカラネット(インターネット)奨学金申込用 【申込ID・初期パスワードは1人ずつ違います】

申込ID YD25235887 初期パスワード HEYW72

注！ひとり一人番号が違います

②下書きをもとに、スカラネット入力開始

マイナンバーカードの登録 (ネット申請②) 「申込みのてびき」 P.41

「マイナンバー提出用画面へのログイン」

① スカラネット入力の「申込完了」画面が表示



② 画面左下の

「個人番号(マイナンバー)の提出等

アイコンが押せるようになる



原則として「提出できます」を選択すること！

「奨学金確認書 兼 地方税情報の取扱いに関する同意書 兼個人信用情報の取扱いに関する同意書」

奨学金確認書 兼 地方税情報の取扱いに関する同意書 兼 個人信用情報の取扱いに関する同意書

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

記入年月日（西暦） 20 年 月 日

私は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の給付奨学金（大学等における修学の支援に関する法律第4条及び独立行政法人日本学生支援機構法第17条の2に規定する学費支給金をいう。）又は貸与奨学金（独立行政法人日本学生支援機構法第14条に規定する学費貸与金をいう。）を申し込むにあたり、関係法令、機構の諸規程を遵守することを誓約します。また、奨学金案内の記載内容、右の該当奨学金の同意事項並びに裏面記載事項について確認し、同意のうえ、本紙に記入した内容について相違ないことを誓約します。なお、私が今回申し込んだ奨学金の種類は、スカラネット（インターネット）で入力したとおりです。

（機構受付用）

スカラネット（インターネット）奨学金申込用 【申込ID・初期パスワードは1人ずつ違います】

申込ID YD25235887 初期パスワード HEYW72

▲ 摩擦等で消えない黒又は青のボールペンを使い、判読可能な文字で記入してください。氏名（自署）欄は、必ず各々が記入してください。

学校名 年 組 出席番号

フリガナ 性別（任意）

氏名（自署） 男・女

生年月日（西暦） 年 月 日 電話番号（固定）（携帯）

現住所 〒

申込者本人の身元確認書類

（貼り付け欄）

▲ 注意点 ▲

- 使用可能な身元確認書類は、同封の「【重要】奨学金確認書兼地方税同意書の提出方法」3ページ手順④で確認。
- 身元確認書類の文字、数字、顔写真等がくっきりと写るよう、鮮明にコピーし、添付してください。
- 【方法1】透明テープを左右2辺に貼付け、全面をのり付けし、よく乾かしてから提出してください。
- 【方法2】のりを使用し、全面をのり付けし、よく乾かしてから提出してください。
- カードサイズ以外のもの（住民票の写し等）は、その裏面に提出用封筒に同封して貼り付けたりしないでください。
- 身元確認書類を2点提出する場合は、1点と2点をそのまま提出用封筒に同封し、本紙に貼り付けたりしないでください。

▲ 生計維持者欄は、スカラネット申込時に入力した生計維持者自身が記入してください。

生計維持者①

フリガナ 本人との続柄

氏名（自署）

生年月日（西暦） 年 月 日 電話番号（固定）（携帯）

現住所 〒

生計維持者②

フリガナ 本人との続柄

氏名（自署）

生年月日（西暦） 年 月 日 電話番号（固定）（携帯）

現住所 〒

▲ 「奨学金確認書 兼 地方税情報の取扱いに関する同意書 兼 個人信用情報の取扱いに関する同意書」（本紙）は、本人控えとしてコピーを取り、大切に保管してください。



【重要】奨学金確認書 兼地方税同意書の提出方法を見ながら記入

1人1人番号が違います！

※それぞれが自署する

生徒手帳の顔写真ある面を鮮明にコピーし、添付する

※青色の封筒に入れ、簡易書留で郵送する



書類記入の注意点

①それぞれの人が**自署**であること

②消せないボールペンで記入

※フリクションペンは使用しない

③間違えたら、訂正は二重線で消し、余白に正しく書き直す

※訂正印は不要、修正テープや修正液は使用しない

④様式などコピーして使用する際には必ず**両面コピー**で提出すること！



注意！

大まかな

手続きの流れ

おさらい

3ステップ

やること 1・・・入力情報の下書き→

スカラネット申請 Web登録

(タブレット・PC・スマホ)

やること 2・・・マイナンバー登録 Web登録

※直接郵便局(書留)から機構へ送付

やること 3・・・書類の郵送 ※簡易書留

①「奨学金確認書兼地方税同意書」の記入 ※自署

②青色の封筒にて郵便局から簡易書留で郵送

→別途、書類の必要な人は、担任の先生へ書類を提出

西高を卒業後 ↓

予約候補者決定通知

進学先で

やること4 ……進学届の提出(4月)、金額等の確定等
(日本学生支援機構へ)

※重要

- ・採用されてからでも「**進学届**」の提出の際に内容の変更はできます。
- ・申込みをし、採用になっても取消すこともできます。
- ・不明な点は直接「日本学生支援機構」の窓口コールセンターへおたずねができます。

※集中すると電話がつながりにくいことがあります

【相談窓口コールセンター】 ※料金はかかりません

★奨学金手続き全般・・・0570-666-301(ナビダイヤル)
平日9時～20時

★マイナンバーについて・・・0570-001-320(ナビダイヤル)
平日9時～18時

Q & A ①

Q.奨学金を利用するか分からないが、申し込んだ方が良いでしょうか？

A.申し込んで下さい。少しでも奨学金を利用する可能性のある人は、必ず申し込んでおいて下さい。

Q.予約奨学金で申し込んだお金は、入学時(4月)には入金されるのでしょうか？

A.4月には入りません。予約であっても口座に振り込まれるのは6月以降になることが多いようです。

Q.入力した金額などを変更したいができますか？

A.できます。進学した後に実際に必要な金額に変更可能です。もちろん、取り消しもできます。

Q & A ②

Q.日本学生支援機構の予約奨学金を利用できない大学や専門学校、学部がありますか？

A.あります。

進学する予定の学校HPなどで必ず確認をしてください。

Q.給付型、貸与型どちらを申し込むか、迷っています。

A.両方申し込むことは可能です。

ご家庭の事情によるので、学校での判断はできません。

大変と思われるご家庭は一先ず給付型も同時申請をしておいて良いと思います。HPのシュミレーションを利用して確認する方法もあります。

Q.もし、返済ができなかった場合にはどうなりますか？

A.とても怖いことになります。。。

貸与型の奨学金はまさに
「**高額**の〇〇」です！！

社会に出て、収入を得るようになったら
自分自身で返済する必要があります。
夢、実現のためには必要なことです。
しかし、くれぐれも

ご利用は計画的に！！

説明会はこれで終了です。



お疲れさまでした